

○委員長（井上宜久）

再開します。

午後 3 時 0 0 分

○委員長（井上宜久）

次に、認定第 4 号 決算認定について（介護保険事業特別会計）を議題とします。  
細部説明を担当課長に求めます。

保険健康課長。

○保険健康課長（田辺弘子）

では、認定第 4 号 決算認定について、地方自治法第 2 3 3 条第 3 項の規定により、平成 2 4 年度開成町介護保険事業特別会計歳入歳出決算は別冊のとおりにつき、監査委員の意見をつけて認定を求めます。

平成 2 5 年 9 月 4 日提出、開成町長、府川裕一。

では、決算書の 2 1 7 ページをご覧ください。介護保険事業特別会計歳入歳出決算総額、歳入、歳入予算現額 7 億 8, 1 9 8 万 2, 0 0 0 円、歳入決算額 7 億 8, 7 1 1 万 5, 3 6 2 円、歳出、歳出予算現額 7 億 8, 1 9 8 万 2, 0 0 0 円、歳出決算額 7 億 5, 3 1 4 万 8, 9 3 4 円、歳入歳出差引額 3, 3 9 6 万 6, 4 2 8 円、うち基金繰入額ゼロ円でございます。

続きまして、2 1 8 ページ、2 1 9 ページをご覧ください。

まず、歳入ですけれども、1 款保険料から 9 款諸収入まで、予算現額 7 億 8, 1 9 8 万 2, 0 0 0 円、調定額 7 億 9, 0 5 9 万 8 8 2 円、収入済額 7 億 8, 7 1 1 万 5, 3 6 2 円、不納欠損額 4 3 万 9, 8 5 0 円、収入未済額 3 0 3 万 5, 6 7 0 円、予算現額と収入済額との比較、5 1 3 万 3, 3 6 2 円でございます。

続いて、2 2 0 ページ、2 2 1 ページ歳出でございます。1 款総務費から 7 款予備費になります。歳出合計で予算現額 7 億 8, 1 9 8 万 2, 0 0 0 円、支出済額 7 億 5, 3 1 4 万 8, 9 3 4 円、翌年度繰越額ゼロ円、2, 8 8 3 万 3, 0 6 6 円予算現額と支出済額との比較 2, 8 8 3 万 3, 0 6 6 円になります。

では、続いて附属資料の介護のところをご覧ください。3 4 2 ページと 3 4 3 ページをご覧ください。

まず、3 4 3 ページの上の要介護、要支援認定者の数をご覧ください。思います。

第 1 号保険者ということで、6 5 歳以上の第 1 号被保険者、第 2 号の被保険者が 4 0 歳から 6 4 歳までの被保険者になりますけれども、要介護認定者、トータルで 4 5 5 人になってございます。こちら 2 5 年 3 月末現在の数字でございます。4 5 5 ということで、内訳といたしましては、要支援 1 が 3 3 名、要支援 2 が 5 0 名、要介護 1 が 8 0、要介護 2 が 7 9、要介護 3 が 7 8、要介護 4 が 7 1、要介護 5 が 6 4 ということで、トータル 4 5 5 名になってございます。2 4 年については 4 5 5 名だったんですけれども、2 3 年度末では 4 1 4 名でございますので、プラス 4

1人増えてございまして、伸びといたしましては、9.9%ほど伸びてございます。内訳ですけれども、一番多いのが、要介護1で80人で17.6%、次に多いのが要介護2になっておりまして、17.4%になってございます。前年度と比べて認定者の内訳の違いといたしましては、要支援1と要支援2の方がかなりの割合で増えてございます。要支援1と2の24年度については、あわせると83人という人数でございまして、23年度につきましては、63人ほどになってございます。その一方、要介護5が64名ということで、昨年度68人でしたので、24年度64という数字ですので、減っている状況でございます。

全体的な要介護認定者の伸びは、大変9.9%ということで伸びているんですけども、その内訳ということで重い方が減って、要支援の方が増えて、要介護1、2の方も軽度の方が増えているというような形で、認定者の状況が中で変わってきてございます。

要介護認定者の伸びが、前年度に比べて増えた理由といたしまして、第1号の被保険者数の伸びがございまして、平成24年度末ですと3,065人ということで、23年度末3,412人に対して、プラスの5.7%の伸びになってございます。23年度は、プラス3.5%の伸び、その前、22年度も3.1%の伸びてでございますので、24年度第1号の被保険者が伸びたというところで、要介護認定者が増えているというような状況になってございます。

続いて、その下のサービス利用状況になります。まず、施設サービスでございまして、施設サービス、特別養護老人ホームと老人保健施設、あと療養型病床群の三つに分けて、トータルといたしまして、実績では61人の方が入所されております。こちら25年の3月末現在ということで61になってございまして、23年度末ですと68人でしたので、マイナスの7人になってございます。この辺減った理由といたしましては、24年度地域密着型介護老人福祉施設が開成町にオープンしたということがございまして、今まで施設特別養護老人ホームに入所された方が移られたという方もいらっしゃいまして、トータル的には施設サービスそのもの、この3施設については人数は減ってございます。

続いて、②ということで、居宅介護サービスになります。それぞれ要支援1から要介護5までの延べ受給者数と月平均の受給者数でございまして、利用率といたしましては、トータル限度額に対してということで55.2%になってございます。

その下、③ということで、地域密着型サービスを24年度から別立てでこちらに記載をさせていただいております。別立てにした理由といたしまして、地域密着型介護老人福祉施設が24年度からオープンしたということで、利用率そのもの、入所系のサービスでございまして、利用率の限度額というところで算出ができませんので、地域密着型サービスのみこちらに別系というような形で記載をさせていただいております。地域密着型サービス、認知症対応型の共同生活介護ということで、グループホームでありましたり、認知症対応型通所介護、あと小規模多機能型居宅介護、あと地域密着型介護、老人福祉施設入所者生活介護ということで、こちら四

つのサービスになりますけれども、延べ受給者数としては476人に、月平均の受給者数としては40人というような形になってございます。

4番目として、サービス種類別年間利用件数ということで、居宅の介護と介護予防を含めた形での件数の形でさせていただいております。居宅サービスの訪問介護から始まって、最後、地域密着型までの件数を入れさせていただいております。23年度と比べて大きく増えた部分につきましては、居宅のほうの右側の表の一番上でございます、居宅療養管理指導ということで、23年度301件に対して559件ということで伸びてございます。

あと一つ飛んで、介護予防、居宅介護支援ということで、ケアプランを立てるサービスになりますけれども、23年度2,791に対して2,941ということで、こちらも認定者が増えた関係で伸びてございます。

それと後一つ飛びまして、住宅改修、23年度28件に対して、24年度46件ということで増えてございます。

逆に減っている部分については、地域密着型サービスの認知症対応型の通所介護でございますけれども、23年度93件に対して、24年度49ということで減ってございます。

一番下に、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護ということで、24年度から新規に利用する方がいらっしゃいますけれども、トータルで212件、月平均で見ますと18人というような形になりまして、直近の25年の6月審査分ですと、20人ほど入所されてございます。

続いて、342ページの歳入歳出をご覧くださいと思います。まず、歳入でございます。歳入の一番上、保険料になります。24年度、介護保険の第5期の計画期間がスタートした年でございますので、保険料が改定になってございます。その関係もありまして、保険料対前年度で見ますと28.8%の伸びになってございます。

その一つ下、国庫支出金については、トータル的に給付費が伸びているということもございまして、国庫支出金、前年度と比べて12.9%の伸び、あとその一つ下、5の県支出金でございますけれども、こちらも12.9%の伸びになってございます。

歳入合計で見ますと、やはり歳出の給付費が伸びているという関係もありまして、トータルで9.9%の伸びというような形になってございます。

その下、歳出になります。2番目の保険給付費になります。実際の使ったサービスに対しての支出になりますけれども、こちら24年度6億8,414万9,000円ということで、前年に比べて6.0%の伸びになってございます。

歳出の合計といたしましては、対前年度比で見ますと9.1%の伸びになってございます。

続いて、保険料の状況ということで、①所得段階別第1号被保険者数になります。第5期の介護保険が24年度からスタートしていますので、13段階になりました

のは24年度からになります。第1段階から、一番上限の第13段階まで、それぞれの人数をこちらに入れさせていただいております。第6段階が、基準額掛ける1%という形になっておりまして、こちらが523人で、率といたしまして14.5%になってございます。合計といたしましても3,605人という形が24年度末の人数でございます。

その下、徴収方法別収納状況になります。現年度分、滞納繰越分ということで、現年度分特別徴収が年金から引かれるものでございますので100%、普通徴収については92.2%、合計といたしまして、現年度分については91.1%でございまして、前年度も99.1%ですので、同じ収納率でございます。

あと滞納繰越分につきましては、収納率27.5%で、23年度14.0%ですので、若干増えてございます。トータルといたしまして、収納率前年度98%に対して、収納率98.4%というような結果になってございます。

では、事項別説明書のほうに戻りましてご説明をさせていただきます。まず、70ページをご覧くださいと思います。保険料については、今、ご説明をいたしましたので省かせていただきます。督促手数料も飛ばしまして、国庫支出金になります。介護給付費負担金ということで、施設給付費額が15%、施設分以外の在宅が20%になってございます。

一つ下、現年度調整交付金になります。こちら市町村間の財政力格差を調整するため、国からの交付金で、後期高齢者加入割合及び所得格差により交付されるものでございまして、22年度からうちの町も交付されているものでございます。こちら23年度247万2,000円ですので、前年度と比べて若干増えてはいますが、299万3,000円という金額が交付されております。続いて、地域支援事業の介護予防事業ですけれども、こちら交付金として25%、その下、包括的支援事業、任意事業については39.5%になってございます。こちら23年度40%でしたので、39.5%に変更になってございます。

その下、支払基金交付金でございます。こちら介護給付費の交付金の29%、こちら23年度30%に対して、29%に変更になってございます。

続いて、地域支援事業費支援交付金です。こちら23年度30%に対して、24年度29%に変更になっています。

続いて、県の支出金、県負担金、現年度分の介護給付費負担金ですけれども、施設給付費額については17.5%、施設分以外については12.5%になっております。

続いて、地域支援事業の介護予防事業12.5%は23年度と変わりありません。包括的支援事業任意事業については23年度20%が19.75%に変更になってございます。その下、財政安定化交付金ということで562万6,000円でございます。こちら介護保険法の改正によりまして、24年度に限り、県の介護保険財政安定化基金の一部を取り崩し、そのうち3分の1に相当する額について、市町村に交付されたもので、24年度限りのものでございます。

続いて、72ページご覧いただきたいと思います。繰入金です。まず、一般会計の繰入金の介護給付費の繰入金については12.5%は変わりません。その他、一般会計繰入金ということで、職員給与費、要介護認定事務費の繰入金はそれぞれ繰り入れをさせていただいております。

その次、地域支援事業の介護予防事業、こちらも法定分という形で12.5%、その下、包括的支援事業、任意事業については、23年度20%だったものが、こちら21%に変更になってございます。

歳入につきましては以上でございます。

続いて、歳出になります。まず、総務費、総務管理費の一般管理費になります。こちら経常的な一般管理費ですので、省略をいたします。その下、介護予防サービス事業費、指導関係費も、消耗品等、書籍類を購入した分でございます。その下、介護認定審査会、介護認定審査会費になります。1市5町共同で足柄上地区介護認定審査会の運営経費を支出してございます。その負担分でございます。

続いて、認定調査関係費になります。訪問調査484件の作成に当たって、4人の非常勤の認定調査員を雇って、訪問調査を行っております。23年度訪問調査件数としては492件でございましたので、若干減ってございます。この辺は有効期間が延長になった関係で、一番短い方は6カ月ですけれども、最長2年まで伸ばすことができますので、そういう関係で、認定者が増えておりますけれども、訪問調査そのものは23年度に比べて減っております。

続いて、高齢者保健福祉事業運営協議会費でございます。こちら第5期の計画の進行管理等、あと地域密着型サービスの指定等にかかわることなど、審議を行いまして、3回の会議を開催しております。

続いて、保険給付費、介護サービス等諸費になります。まず、要介護1から5までの方の介護サービス等諸費ですけれども、まず、居宅介護サービスです。平成25年3月末の要介護認定者は372人で、こちらの居宅介護サービスは訪問介護、通所介護、短期入所など、在宅で受ける介護サービスによる給付でございます。こちら前年と比べて2.4%の伸びになってございます。

続いて、施設介護サービス給付費ということで、こちら先ほども説明させていただきましたけれども、マイナス10.8%になってございます。

その下、介護福祉用具購入費給付事業ということで、こちらも前年に比べまして、24年度23件、前年度28件でしたので、若干減っております。

続いて、住宅改修費、こちら増えてございますけれども、住宅改修による償還払いということで、前年度23年度22件に対して29件になってございます。

続いて、居宅介護サービス計画給付事業費になります。こちら介護サービスのケアプラン作成による給付になってございますけれども、こちらにつきましては、昨年2,414件に対して2,372件というような形になっておりまして、若干減ってございます。

その下、地域密着型介護サービス給付事業費になります。こちらは認知症対応型

通所介護、認知症対応型共同生活介護、あと先ほどからお話しさせていただいています地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護が新規に加わってございますので、前年に比べて69.9%の伸びというような形で1億7万1,450円というような金額になってございます。

続いて、介護予防サービス等諸費です。こちら認定者25年3月末の要支援認定者は83人ということで、居宅介護予防サービス給付事業、訪問介護、通所介護、短期入所などのサービスでございますけれども、こちら認定者が増えているということで、37.3%の伸びになっております。

続いて、地域密着型介護予防サービス給付事業費ということで、今回、要支援2の方が、介護予防小規模多機能型居宅介護サービスを利用した関係で、24年度新規に32万8,000円ほど支出をしております。

続いて、福祉用具購入費です。こちら要支援1と2の方の福祉用具の購入ということで、こちら23年度3件に対して12件ということで増えてございます。

その下、介護予防の住宅改修費になりますけれども、こちら6件に対して17件ということで、住宅改修が増えてございます。

その下、介護予防サービス計画給付事業費になります。こちら認定者が増えているということで、377件に対して569件ということで、かなり増えてございます。

続いて、高額介護サービス給付事業費になります。要介護1から5までの方の介護サービスの一部負担金が一定額を超過したときの分でございますけれども、777件に対して821件ということで、こちら14.6%の伸びになってございます。

一つ飛ばしまして、特定入所者介護サービス給付事業費になります。こちら要介護1から5までの方の施設利用のサービスの居住費及び食費による低所得者への給付ということで、23年度438に対して855件ということで、かなりの割合で増えてございます。金額といたしましては30.9%の伸びになってございます。

その下、高額医療合算介護サービス給付事業ですけれども、こちら昨年31件に対して32件ということで、ほぼ件数的には同じなんですけれども、金額については若干増えてございます。

続いて、76ページになります。地域支援事業ということで、介護予防高齢者施策事業費ということです。二次予防事業対象者把握事業ということで、基本チェックリストを314名に送付をしまして、二次予防事業対象者の振り分けを行って、二次予防事業対象者把握事業を社会福祉協議会、地域包括支援センターのほうに委託をしております。

また、二次予防事業対象者を通所型介護予防事業に呼んで、いきいき倶楽部等を実施した経費でございます。

続いて、包括的支援事業ということで、24年度から地域包括支援センターを社会福祉協議会に委託し、その委託費を支出をしております。それ以外に、任意事

業ということで介護相談員の賃金、あと地域包括支援センターの運営協議会の委員報酬であったり、介護相談員の研修旅費等を支出してございます。

続いて基金積立金ということで、介護保険財政調整基金積立金になります。第5期の計画期間中の保険料の剰余金を積み立てて、財源不足に取り崩しを行って、財源に充てるため、基金の積み立てを行っております。24年度2,045万8,000円を積み立てまして、合計で24年度末の介護保険財政調整基金の現在高といたしましては、3,004万4,000円になってございます。

続いて、諸支出金、償還金になります。第1号被保険者保険料還付金、23年度15件に対して6件分でございます。以下償還金、一般会計繰出金ということで省略をさせていただきます。

では、最後に決算書に戻りまして、246ページになります。実質収支に関する調書、1、歳入総額でございます。7億8,711万5,000円、2、歳出総額7億5,314万9,000円、3、歳入歳出差引額3,396万6,000円、4、翌年度へ繰り越すべき財源はゼロ円、5、実質収支額3,396万6,000円でございます。

以上です。

○委員長（井上宜久）

以上で、認定第4号 決算認定について（介護保険事業特別会計）の説明が終了いたしました。